

山田の魅力为全国へアピール 祭りカレンダー「和」完成

山田八幡宮・大杉神社の佐藤明徳宮司が、祭りカレンダー「和」を作成しました。このカレンダーは、震災以前の写真を使用したもので、昔の風景・祭りの雰囲気を思い出し、両神社での祭りの再興を願い、また全国へ祭りをアピールしようと200本限定で作成。天皇陛下に献上し、安倍晋三内閣総理大臣や町に支援いただいた方に謹呈する予定です。また、9月4日より山田八幡宮で一般に有料で頒布されます。詳しくは、山田八幡宮（☎82-3459）へお問い合わせください。

大杉神社神輿会会長
上林善博さん



魚賀波間神社例大祭執り行われる 久々のおはやしに活気づく

8月4日、魚賀波間神社（上澤富士夫宮司）の例大祭が大沢地区において執り行われました。同神社の例大祭は震災前から休止していましたが、震災後の町を元気づけようと6年ぶりに開催。宵宮となる8月3日、同神社に大澤大神楽、大沢虎舞、山谷獅子踊りの3団体が一堂に会し、大勢の人らは舞を堪能しました。また、当日となる4日は境内や同地区の仮設住宅で3団体が所狭しと舞を披露。大沢虎舞の和藤内の演舞に観客の間で笑いが起こるなど、大沢地区は久々の祭りに活気づいていました。

氷の自販機を山田魚市場に設置 魚介類の鮮度向上にひと役

山田魚市場南側に氷の自動販売機が完成しました。これは、山田漁業協同組合連合会が国・県などの補助を受けて整備したもので、24時間いつでも氷を購入することができ、新鮮な魚介類の保存・運搬が可能となります。同連合会・佐藤龍男参事は「手軽に氷が手に入るようになり大変良かった。山田の魚介類を流通させるのにひと役買えるものと考えます」と話していました。なお、自動販売機は1回400円で30*の氷が購入できます。使用する際は、氷を入れる袋などをご持参ください。



よみがえる懐かしい記憶 震災前の山田町写真展開催

震災前の山田の町並みや風景などを集めた写真展が、8月8日から町中央コミュニティセンター2階ロビーにて開催されています。公益財団法人国際開発救済財団（FIDR）が開催したこの写真展は、震災で失われてしまった町並みなどの記憶の風化を防ごうと企画されたもので、町内外の人から提供された約80点の写真を展示。訪れた人々は、震災前の写真を見ながら語り合ったり、忘れかけていた記憶を探したりと、懐かしい山田に思いを巡らせていました。この写真展は9月23日まで開かれます。



町のわだい

今月の題字 山崎 理子^{りこ}ちゃん（船越小4年）



タイ・ウィリアムズさんが漁船に描いた魚のイラスト



米国人アーティストが来町 寄付を記念し漁船に絵描く

7月26日にアーティストのタイ・ウィリアムズさんが大沢漁港を訪れ、漁船にユニークな魚のイラストを描きました。これは、衣料メーカーの三陽商会（杉浦昌彦社長）が盛岡市の合同会社アドボート・ジャパン（菅原 誠代表）を通じて大沢の漁業者を支援したことから、これを記念して行われたものです。イラストを描いたウィリアムズさんは「何回か訪日しているが、穏やかな漁港に来るのは初めてで、すごく気に入った。震災については、テレビで見て大変なショックを受けた。私のイラストで漁港がにぎやかになってくれれば」と思いを語ってくれました。

サマーチャレンジ2013開催される 子どもらが遊び学べる場を

8月7日から8月11日にかけて、町内各地でサマーチャレンジが開催されました。これは、震災後に公園などが少なくなった子どもたちに、遊び学ぶ場所を提供しようと山田町社会福祉協議会（横田隆男会長）が企画したものです。同イベントでは、ダンス教室や料理教室、水泳教室、陶芸教室など多種多彩な教室が開かれ、期間中に大勢の子どもたちが訪れました。目いっぱい遊び学んだ子どもたちは口々に「また来たい」「次はいつやるの？」と満足した様子。子どもたちはひと時の夏の思い出を作っていました。

